

概況 (図1・2,表1)

房総丸(110ト)で観測した。親潮系水の南下状況を把握するため、犬吠埼沖合に定点を追加して観測したが親潮系水と考えられる水塊は観測されなかった。4/5は外房海域の沿岸域から銚子・九十九里海域を観測したが、西南西の風が強かったので、C11まで観測し、4/6に帰港した。

4/9から残りの定点(C10から実施)を観測し、4/10に観測を終えた。4/6と4/11の海況は図2のとおりで、数日で黒潮流路の位置が大きく変わっているため、観測結果の見方には注意が必要である。黒潮の離岸距離は表1のとおり。

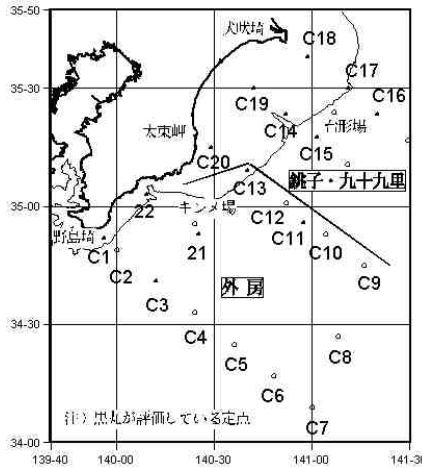


図1 定点位置

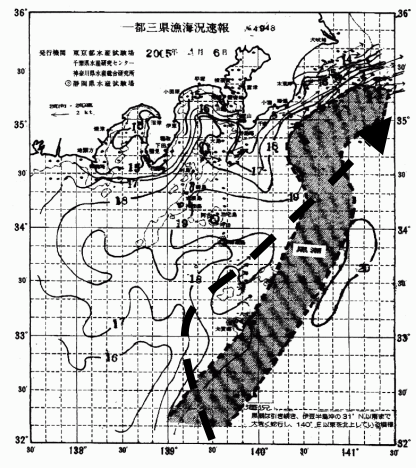


図2 4月6日の一都三県漁海況速報 (点線は4月1日の黒潮流軸)

表1 房総沖の黒潮離岸距離 (2005年4月)

基点・方向	距離 (マレ)	階級
野島埼・南東	70	やや離岸
太東岬・南東	30	-
犬吠埼・南東	35	やや接岸

\*(数字)は海洋速報(海上保安庁海洋情報部)より

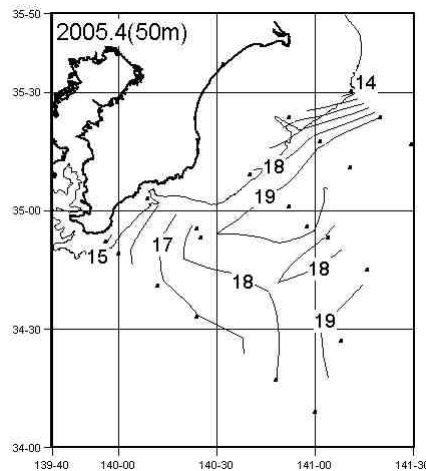
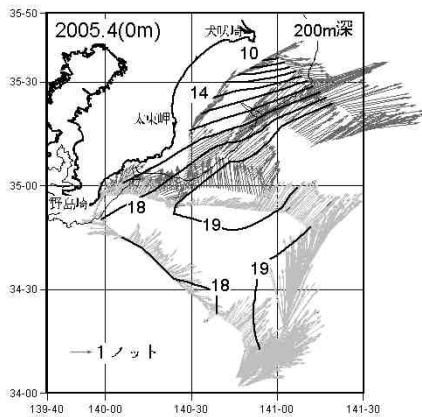
表2 水温の評価 (2005年4月)

水深 (m)	外房海域			銚子・九十九里海域		
	水温	年間偏差	評価	水温	年間偏差	評価
0	18.4	1.3	やや高め	15.3	-0.4	平年並
50	17.30	1.33	平年並	16.82	1.15	平年並
100	17.37	2.22	やや高め	15.04	0.90	平年並
200	15.06	2.08	やや高め	15.06	2.85	やや高め

\*水温は各海域の評価点の平均値

水温 (表2,図3・4・6)

先月は「低め」～「平年並」であったが、「平年並」～「やや高め」になった。海面の年間偏差は概ね正の偏差であったが、C18は -4.6 で観測史上(1964年以降)最低の水温を記録した。



塩分 (図4・5) 海面～200m深にかけて概ね34.5～34.8であったが、C18の海面では33.001というきわめて低い塩分を観測した。

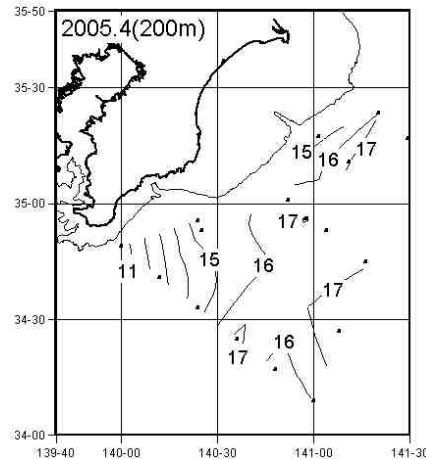
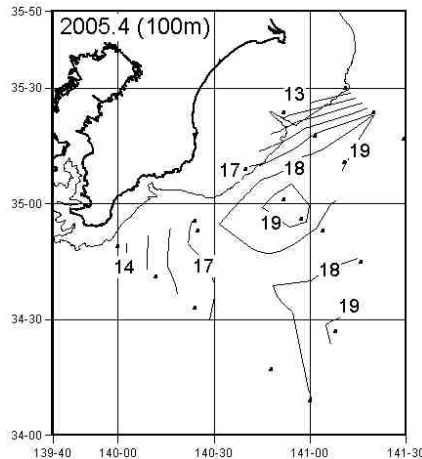


図3 水温の水平分布と流れ (流れは10m深,前半は黒,後半は灰色)

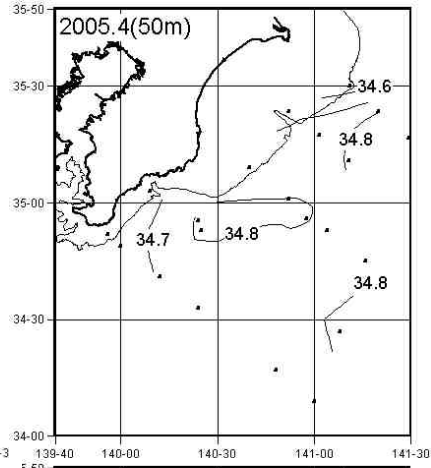
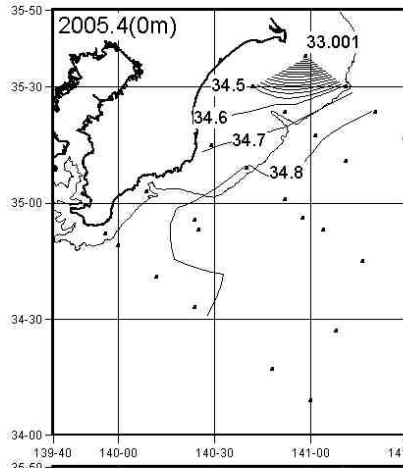
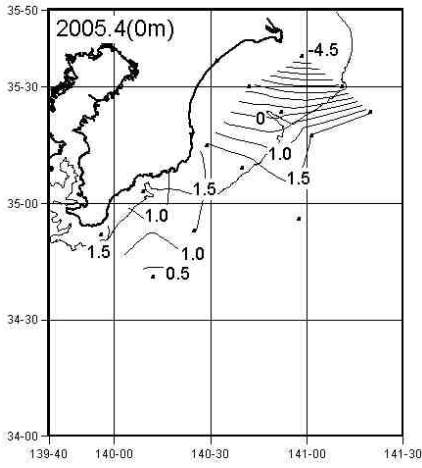


図4 海面水温の年間偏差

流況 (図1・2)

前半の観測では、太東岬沖から犬吠埼沖の200m深付近から沖合域にかけて、2ノット以上の流れが観測され、特に犬吠埼南東30マイル沖付近とミゾ場周辺は3ノット以上の流れがあった。後半の観測では、太東岬南東方から野島埼南東方の50マイル以上の沖合域で2ノット以上の流れが観測された。

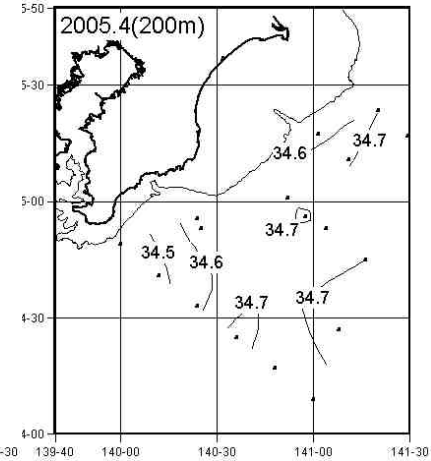
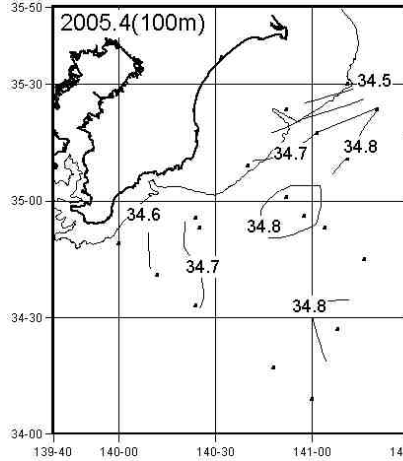
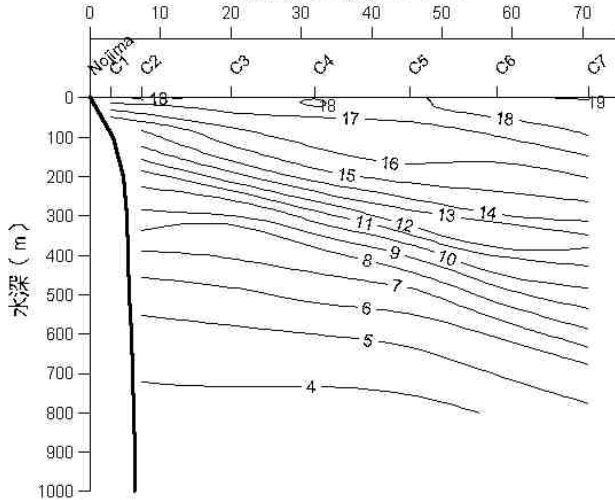


図5 塩分の水平分布

2005.4 野島埼南東定線 野島埼からの距離 (マイル)



2005.4 野島埼南東定線 野島埼からの距離 (マイル)

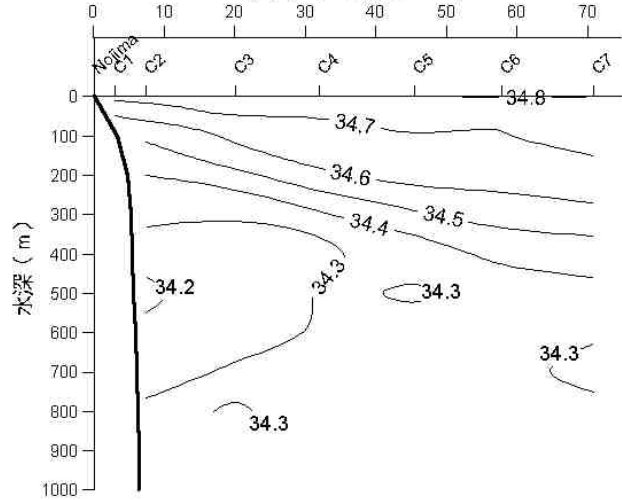


図6 水温と塩分の鉛直分布